

|                                                                                                                                                                                                                                            |                                             |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------|
| 部門名：カリキュラム・マネジメント実践部門                                                                                                                                                                                                                      | エントリー名：加賀市立湖北小学校 柴田和美<br>平成30年度第4回副校長・教頭等研修 |
| 活動名：若手育成と働き方改革 ～無理のない若手育成システムの構築～                                                                                                                                                                                                          |                                             |
| 解決すべき課題：半数を占める若手教員の育成は急務であるが、その時間の確保が難しい。                                                                                                                                                                                                  |                                             |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●単級の小規模校→若手は先輩の実践を見聞きする場面が少ない。授業準備等に時間がかかり、帰宅時間が遅い。児童への指導に課題を抱え、悩んでいる教員がいるが、気遣いから相談できない。</li> <li>●一人あたりの校務分掌が多い。特にベテラン教諭への負担は大きい。若手の相談に乗る時間がない。</li> <li>●「集合研修」が削減され、学校で育てる必要性が高まっている。</li> </ul> |                                             |
| 目標・方針：無理のない若手育成システムの構築→若手教員の指導力向上→働き方改革の推進                                                                                                                                                                                                 |                                             |
| <p>活動内容：①今ある教育課程の見直し（朝・帰りの会、帯タイム、家庭学習の仕方、学級会の方法等）→全校で取り組む「共通のシステム」の構築→共通実践</p> <p>②若手教員の実態（ニーズ・個性）に応じた校内研修体制の構築（みどり塾、みどりランチ、ながらDVD、相談予約ボード等）</p>                                                                                           |                                             |
| 活動の成果：若手教員の指導力向上・人間関係強化・働き方改革・児童の成長                                                                                                                                                                                                        |                                             |
| <p>① 若手教員の指導力が向上した。（单元テスト平均点の向上、学校評価アンケート結果の向上）</p> <p>② 教師間の助け合い、教え合い（OJT）が活性化し、人間関係が強化された。（教員の感想より）</p> <p>③ 若手が一人で悩む時間が減り、働き方改革につながった。（若手教員の感想より）</p>                                                                                   |                                             |
| <p>アピールポイント（アイデアや工夫）：「若手育成と働き方改革」その両立に向けての取組</p> <p>・ばらばらに行っていた当たり前の活動を見直す！「効率的で効果的な方法」をみんなで考えてみんなで実践！</p> <p>・勤務時間内の隙間時間（担任以外でも指導できる時間）を見つけ、若手研修に活用！</p> <p>・気軽にお願いや相談ができるシステムを構築し、みんなで無理なく助け合い、働き方改革！</p>                                |                                             |

## 活動内容の紹介

## 全校で取り組む「共通システム」の構築

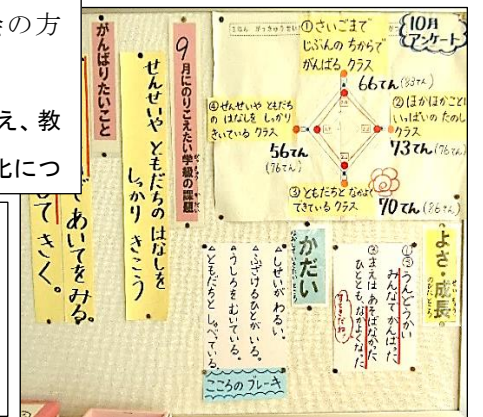
「各自で工夫して実践してほしい」とする提案では、経験が少ない若手は戸惑うことが多く、準備に時間がかかる。そこで、共通システムを構築し、丁寧に方法を説明し、教材は分担して準備し、共通実践するようにした。



共通システム例①学級会の方法  
学級活動（1）の方法をそろえ、教材、集計を分担。業務の平準化につなげる。

## 共通システム例②「宿題の提出・指導方法」

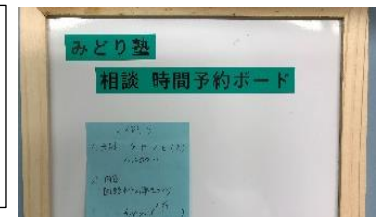
提出方法について、グッズ等もそろえて共通実践。学習支援員へのお願いカード等を揃えたことで、役割分担、連絡がスムーズになった。児童に向き合う時間の捻出につながった。児童の家庭学習の定着率もアップした。



## 若手教員の実態（ニーズ・個性）に応じた校内研修体制の構築

ニーズに合ったタイムリーな若手研修  
必要感がある時を中心に30分程度の研修会を実施。お菓子を食べながら実施

個に応じたOJT「みどりランチ」  
若手の担任が職員室で給食を食べる日を隔週で設定。NITSのオンライン研修等を視聴したり、メンターへ相談したりしている。



ながらDVD  
夏休みは、職員室で仕事しながらの授業DVD推奨。会話が活性化した。

メンター、メンティーをつなぐための環境整備  
全員が多忙であるため、相談することを躊躇することが多いという悩みを解決するために、相談予約や付箋による相談コーナー（伝言板）を設置。相談が増えた。

## 成果（アンケート結果や感想）

教員アンケート：「若手研修の内容が授業改善や日々の指導に役立っている」と答えた割合→100%、  
若手教員アンケート：「若手研修の内容が働き方改革の一助となっている」と答えた割合→100%  
保護者アンケート：「落ち着いて授業に取り組んでいる」と答えた割合→86%（昨年度より約10%アップ）  
1学期单元別テスト：4教科全ての平均点が前年度よりアップ

今年度は初任者が赴任。昨年度より若手の割合は増加。

## 若手教員の感想より

・みどり塾では、タイムリーなことを詳しく説明してもらえたので役に立った。これまで具体的に教わることは少なかったのですが実践できた。（学級組織の話し合い方、子どもと教師の思いを反映させる学級目標の作り方、各教科の具体的指導、次に生かせる評価の仕方等）  
特に、個人懇談については、詳しく紙媒体で教えてもらったので安心して準備をすることができた。

・みどりランチは、短時間ではあるが、自分が希望するオンデマンドやDVDを視聴でき、ピンポイントで学べるのでありがたい。負担も少ない。

・共通実践は、中身が決められているおかげで、毎日あれこれ考えなくていいのでありがたい。子どもも迷いなく行動できている気がする。

・相談予約ボードや伝言板は、口頭で言い出しにくいことも書けるので安心。一人で悩む時間や考える時間が減った。